

～ 「人」と「農業」を新型コロナウイルスから守るために ～

農作業が本格化しています。
農家や従業員の皆さんが新型コロナウイルスに感染しないよう対策を徹底しながら
農作業事故に十分注意して作業を行いましょう。

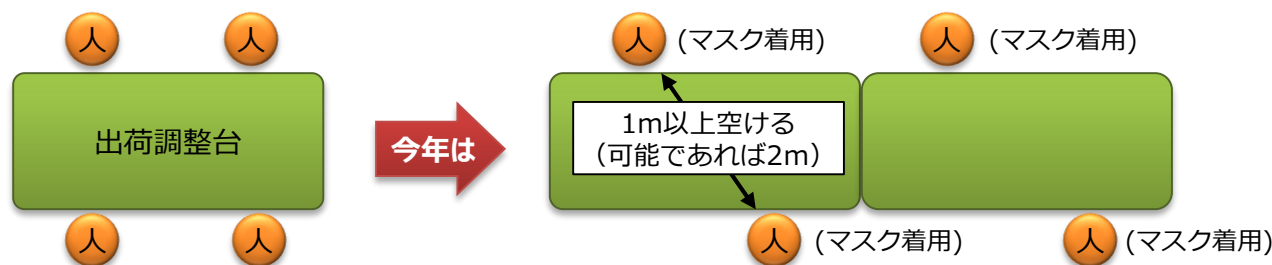
対策1 作業する人全員の体調をチェックしましょう

- ◆ 朝（作業前）と夕（作業後）に体温を測定して記録しておきましょう。
- ◆ 発熱などの症状がある場合は、自宅で待機してください。
- ◆ 発熱や強いだるさ、息苦しさなどがある場合は、かかりつけ医療機関か、「受診相談コールセンター」（電話：0120-88-0006）に問い合わせてください。

対策2 3密（密閉、密集、密接）にならないように工夫しましょう

- ◆ 屋内で作業する場合は、マスクを着用し、人との間隔は2mを目安に（最低1m）距離を確保しましょう。屋外でも複数で作業をする場合は、マスクを着用し、適切な距離を保つようにしましょう。
- ◆ 出荷調整などの室内作業は、室温18℃以上、湿度40%以上を目安に、
 - ① 窓を少し開けて行うか、定期的に換気を行いましょう。
 - ② 隣の人と距離をとりましょう（下図）。
 - ③ 会話等は必要最小限にしましょう。
- ◆ 出荷調整施設（小屋）等に入出入りする時は「手洗い」と「手指の消毒」を行いましょう。
- ◆ ドアノブや手すり等の人がよく触れるところは、拭き取りを行いましょう。
- ◆ 休憩や食事の時も、時間をずらしたり、十分に距離を空けましょう。

出荷調整作業時の配置例



もしも、家族や従業員が感染した場合は

- ◆ 家族や従業員等への感染が確認された場合には、保健所に連絡し、対応について指導を受けてください。
- ◆ 感染者の濃厚接触者と特定された人は、14日間自宅待機します。その間に、発熱又は呼吸器症状を呈した場合は、保健所に連絡し、行政検査（PCR検査）を受検します。
- ◆ 保健所の指示に従って、感染者が作業に従事した区域の消毒を実施します。
- ◆ 緊急を要し、自ら施設の消毒を行う場合には、感染者が作業に従事した区域のうち、頻繁に手指が触れる箇所を中心に、消毒液で拭き取り等を実施してください。
- ◆ 一般的な衛生管理が実施されていれば、感染者が発生した施設等は出荷停止や農産物廃棄などの対応をとる必要はありませんので、焦らず対処しましょう。